

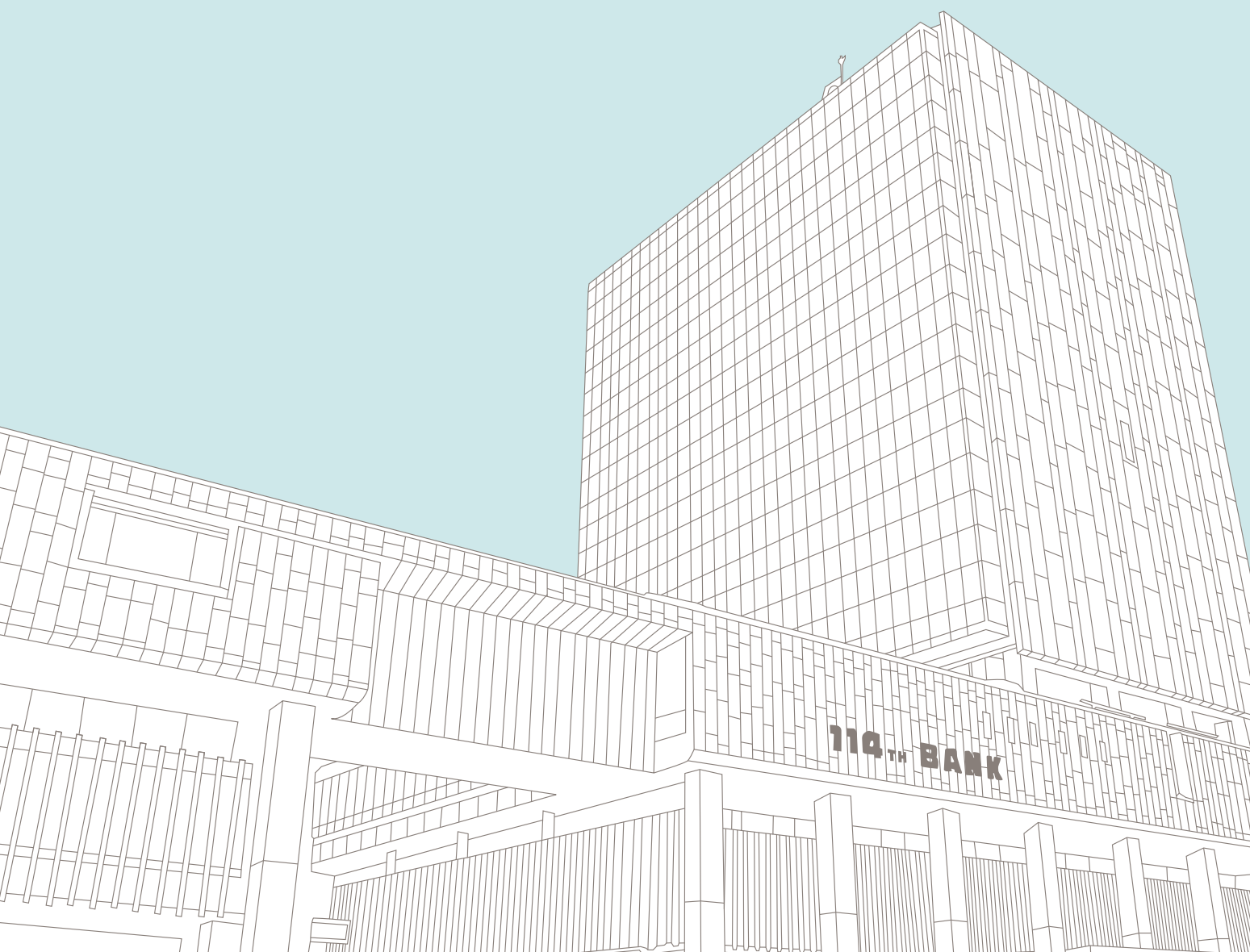
Mini Disclosure

百十四銀行 ミニディスクロージャー誌

第154期 営業のご報告

2022年4月1日～2023年3月31日

114 BANK



ごあいさつ

平素より百十四銀行をご利用、お引き立ていただき、まことにありがとうございます。

この度、皆さま方の当行に対するご理解が一層深まりますよう、「2023年3月期ミニディスクロージャー誌」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

さて、地域金融機関を取り巻く経営環境は、長引く金融緩和政策や異業種の参入による競争激化等を背景に一層厳しさを増しております。加えて、不安定な国際情勢により表面化する地政学リスクや、金融市場におけるボラティリティの高まり等、従来の尺度では測りえない事象に対する備えと対応の重要性が高まっております。

また、地域社会においては、人口減少による地域経済の縮小や超高齢化社会の進展による新しい人生設計の必要性の高まり、脱炭素・循環型社会への移行やデジタルシフトの加速等、複雑化する課題への対応が求められております。一方で、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更による経済活動の活性化や、人々の価値観、ライフスタイル及び働き方の多様化といった変化を新たな成長・発展につなげる「機会」と捉えて適応することが期待されております。

このような中、当行グループは地域金融機関として、創業よりお客さま・地域社会との間で築きあげてきた揺るぎない関係、瀬戸内圏を中心とした広域ネットワークを最大限に活かし、長期的な視点で地域のサステナビリティに関する課題に目を向け、その課題に全力で取り組むことで、お客さま・地域社会とともに持続的な成長を実現していく必要があります。

このため、当行グループがめざしていく長期的な方向性として、2030年をゴールとする「長期ビジョン2030」を策定し、その第1フェーズとして3年間（2023年度～2025年度）の中期経営計画「**創ろうイ・イ・ヨ**」を策定いたしました。総合コンサルティング・グループの進化をすすめ、お客さま・地域社会から「百十四いいよ!」と言っていただけるよう付加価値の高いサービスの提供につとめ、「地域 みんな」がウェルビーイングを実感できる「いい世の中」を創ってまいります。

当行グループは、お客さまや地域社会の発展を通じて自らも成長し、創出した利益や価値を還元していくという好循環を通じて、ステークホルダーの皆さまが笑顔で過ごせる未来の実現をめざしていく所存です。

皆さまにおかれましては、なご一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

頭 取

緩田 裕次郎



経営理念

- 1 お客さま・地域社会との共存共栄をめざします。
- 2 活気ある企業風土の醸成をめざします。
- 3 健全性の確保と企業価値の創造をめざします。

Profile [2023年3月31日現在]

本店所在地	香川県高松市亀井町5番地の1	発行済株式総数	29,100千株
創 業	1878年11月1日	従 業 員 数	1,995人
総 資 産	5兆7,845億円	店舗数	132店舗
総 預 金	4兆7,958億円(譲渡性預金を含む)	[本支店 99、出張所 22、 クイックスクエア 6、 コンサルティングプラザ 5]	
貸 出 金	3兆3,668億円	海外駐在員事務所 1	
資 本 金	373億円		

※ 本冊子に掲載されている計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しております。

百十四グループ (2023年3月31日現在)

百十四銀行

- 百十四リース(株)
- 日本橋不動産(株)
- 百十四ビジネスサービス(株)
- (株)百十四人材センター
- (株)百十四システムサービス
- (株)百十四ジェーシービーカード
- (株)百十四ディーシーカード
- 百十四総合保証(株)

長期的にめざす姿(長期ビジョン)

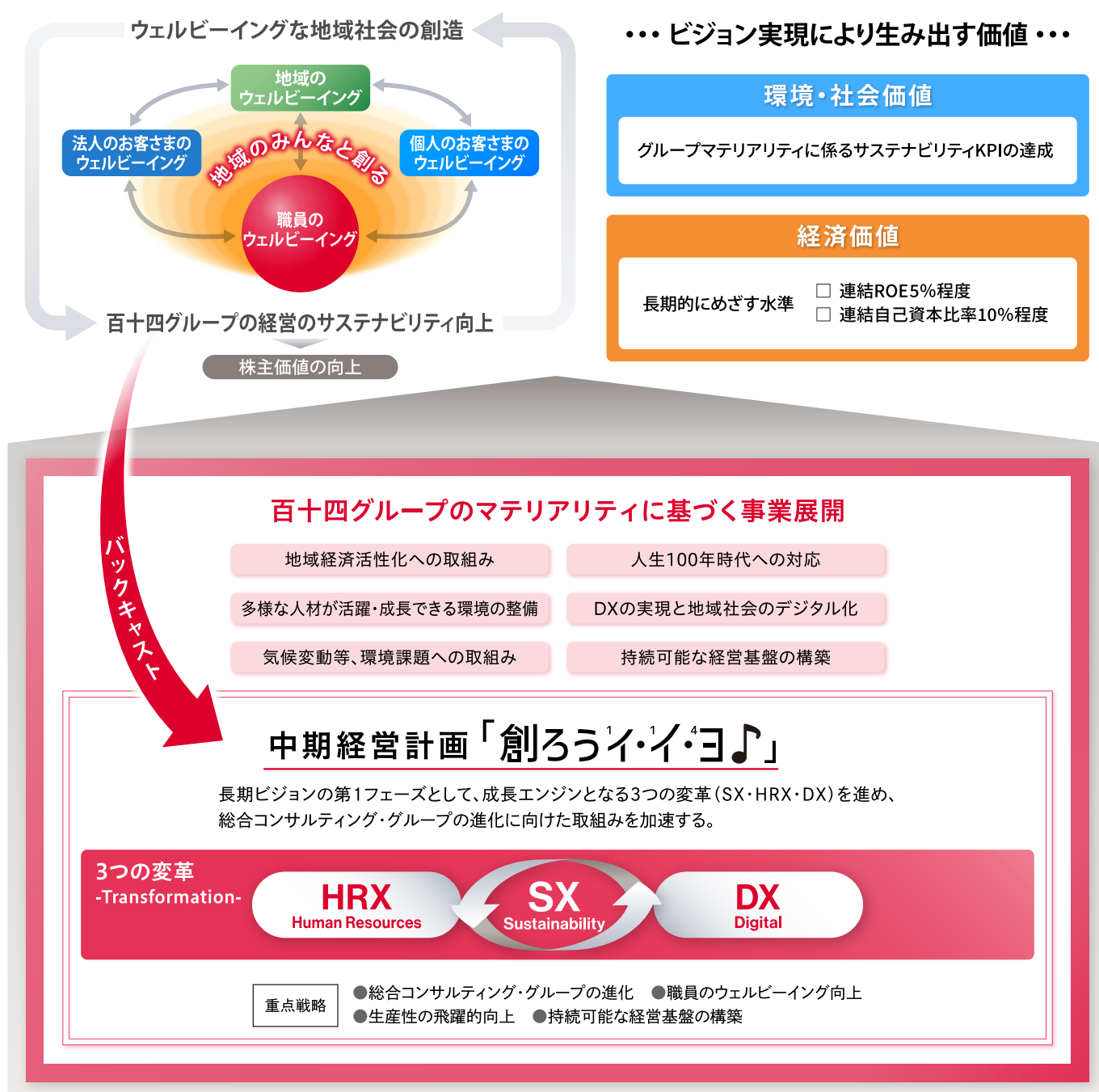
人口減少・超高齢化の進展に加え、脱炭素・循環型社会への移行や加速するデジタルシフトへの対応等、地域のサステナビリティに関わる課題が多様化・複雑化し、地域金融機関を取り巻く環境も急速に変化しております。このような環境変化の中で、私たち百十四グループが地域とともに持続的に成長するためには、長期的な視点で地域のサステナビリティに関する課題に積極的に取り組むことで、経営の持続可能性を高めていく必要があります。

こうした認識のもと、百十四グループは、サステナビリティに関する課題のうち優先的に取り組むべき重要課題を「百十四グループマテリアリティ」として特定するとともに、マテリアリティに取り組む先に見える長期的にめざす方向性として「長期ビジョン2030」を定めました。

この長期ビジョンからバックキャストした中期経営計画「創ろうイ・イ・ヨ」の各戦略の実行を通じて、ウェルビーイングな地域社会の創造と百十四グループ経営のサステナビリティ向上をめざしてまいります。

長期ビジョン2030

総合コンサルティング・グループの進化により、地域の人々とウェルビーイングな社会を創造する



新中期経営計画「創ろうイ・イ・ヨ♪」

長期ビジョン実現に向けた各戦略実行の第1フェーズとして、3つの成長エンジン(SX・HRX・DX)による変革を進め、総合コンサルティング・グループの進化に向けた取組みを加速してまいります。

名称	「創ろうイ・イ・ヨ♪」	名称の意味 お客さま・地域から「百十四いいよ!」とっていただけるような付加価値の高いサービスを提供していくことで、“地域のみんな”がウェルビーイングを実感できる「いい世の中」を創っていくという想いを込めています。
基本方針	長期ビジョンの第1フェーズとして、3つの成長エンジン(SX・HRX・DX)による変革を進め、総合コンサルティング・グループの進化に向けた取組みを加速する。 ① 職員のウェルビーイング向上と生産性の飛躍的向上により個々の職員が能力を発揮できる環境を整備するとともに、コンサルティング機能の強化と新事業領域の探索により課題解決力の強化を図る。 ② コンサルティングとファイナンスを相互に組み合わせながらお客さま・地域が抱える課題解決に伴走し、各ステークホルダーのウェルビーイング実感と百十四グループのサステナビリティ向上の両立をめざす。	
重点戦略	総合コンサルティング・グループの進化 グループの総力を結集し、『地方公共団体等との連携による地域課題の解決』、『法人コンサルティング機能の強化』及び『人生100年時代における個人のお客さまの様々なニーズへのサポート』に取り組む 職員のウェルビーイング向上 働きがいと働きやすさの両立によりウェルビーイングを実感する職員の最大化を図り、お客さま・地域の課題解決に熱意をもって取り組む人材力を強化する 生産性の飛躍的向上 デジタルを活用した業務プロセス改革とチャネル戦略の高度化による飛躍的な生産性の向上を図り、挑戦に必要な人員と時間を創出する 持続可能な経営基盤の構築 有価証券運用の安定化、コスト・リターン管理の徹底、システム・デジタル基盤の整備及びガバナンス強化等を通じてレジリエントで持続可能な経営基盤を構築する	
戦略を支える成長エンジン	3つの変革の推進 - Transformation - SX [Sustainability] HRX [Human Resources] DX [Digital]	

SX(Sustainability) 当行グループと地域社会のサステナビリティの両立
 HRX(Human Resources) 経営戦略と人事戦略の連動による人的資本の最大化
 DX(Digital) データ及びデジタル技術を起点としたビジネスの変革



津田太陽光発電所 稼動開始

CO2排出量削減を目的に、香川県さぬき市津田に太陽光発電所を建設し、2023年3月から発電を開始いたしました。

本発電所は、7,200㎡の敷地に太陽光パネル1,400枚を設置しており、一般家庭約260世帯分に当たる年間835MWhを発電することができます。発電した電力をすべて自己消費に充てることで、当行年間CO2排出量の7%、約480トンのCO2排出量削減を見込んでおります。



114バンキングアプリ サービス開始

2023年2月、個人のお客さまに向けた新たなアプリ「114バンキングアプリ」のサービス提供を開始いたしました。

UI/UX※の向上を追求したシンプルな操作性により、時間や場所を問わずストレスなくご利用いただけます。

※UI/UX:ユーザーインターフェース/ユーザーエクスペリエンスの略で、ユーザーとの接点/ユーザーの体験を意味し、114バンキングアプリはこれらを高めることをめざしてデザインを行い開発しております。



次世代育成のための金融教育を実施

小学生から大学生・一般まで幅広く金融教育活動を行っています。2022年11月には、「ワクワク体験Kids王国in丸亀」に子ども銀行を出店したほか、四国財務局と共同で香川県下の高校2校に「財政とお金の基礎講座」の授業を行いました。



多様な人材が活躍できる職場づくり

職員の多様な働き方を支援するとともに、主体的なキャリア形成や能力開発を支援するため、2023年4月より副業制度を導入いたしました。また、当行を中途退職した職員を再雇用するための制度を大幅改定し、様々なスキル及び経験を有する人材が活躍できる職場環境づくりにつとめております。



▲副業で神主として神事を執り行う当行行員

「瀬戸内国際芸術祭2022」を応援

3年に一度、瀬戸内の島々を舞台に開催される「瀬戸内国際芸術祭」を当行グループを挙げて応援いたしました。

夏会期開催前には、訪れる方が気持ちよく島々を行き来できるよう、高松港及び宇野港で清掃活動を行ったほか、会期中には作品の受付ボランティアに参加いたしました。

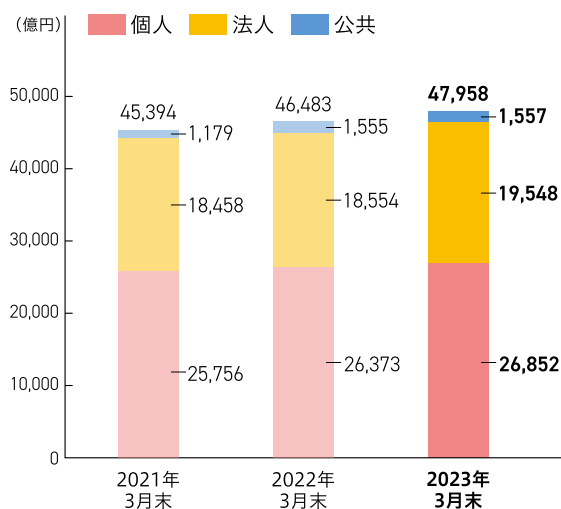


業績ハイライト

総預金・貸出金の残高推移

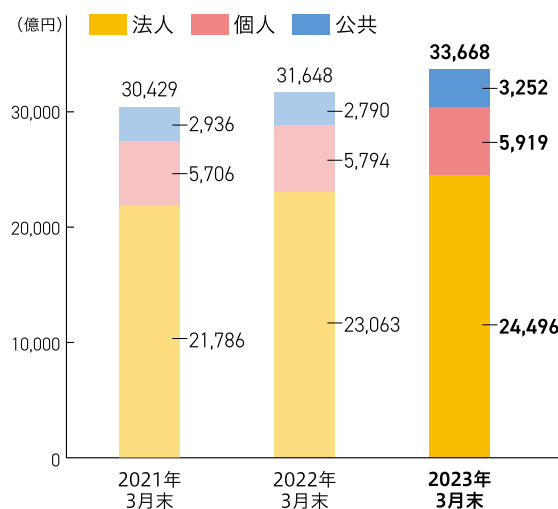
》総預金（預金＋譲渡性預金）【単体】

当期末の総預金残高は、個人、法人及び公共預金がいずれも増加したことにより、前期末比1,475億円増加して4兆7,958億円となりました。



》貸出金【単体】

当期末の貸出金残高は、法人向け、個人向け及び公共向け貸出金がいずれも増加したことにより、前期末比2,019億円増加して3兆3,668億円となりました。



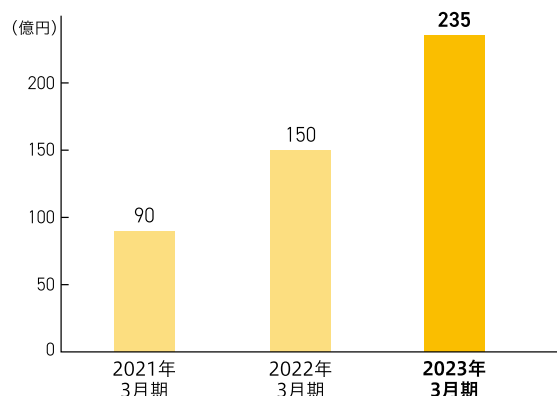
業績の推移

》コア業務純益（除く投資信託解約損益）【単体】

コア業務純益（除く投資信託解約損益）*は、金融派生商品関係損益、及び外国為替売買益を含むその他業務利益*が増加し、経費も減少したことから、前期比85億円増加して235億円となりました。

*コア業務純益（除く投資信託解約損益）とは
銀行の本来業務からの利益を表す指標

※ 債券関係損益を除く

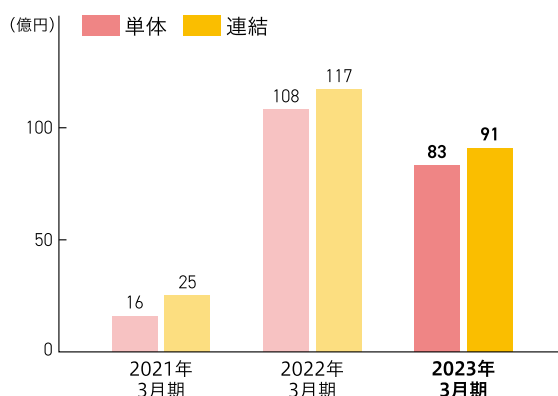


》当期純利益【単体・連結】

当期純利益は、コア業務純益（除く投資信託解約損益）は増加しましたが、債券関係損益が減少したことなどにより、前期比25億円減少して83億円となりました。

また、連結当期純利益*は、前期比25億円減少して91億円となりました。

*連結当期純利益とは 親会社株主に帰属する当期純利益

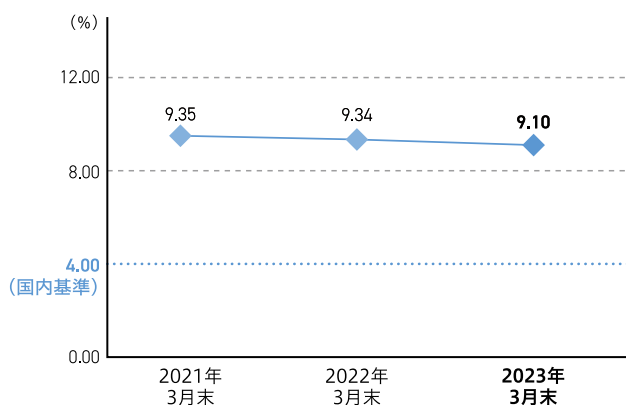


経営の健全性について

自己資本比率の推移【連結】

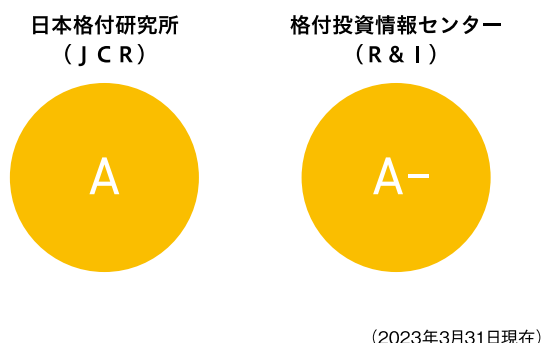
自己資本比率は、銀行の健全性を示す指標の一つです。

自己資本比率規制(国内基準)に基づく連結自己資本比率は、2023年3月末現在で9.10%となっており、引き続き十分な水準を確保しております。



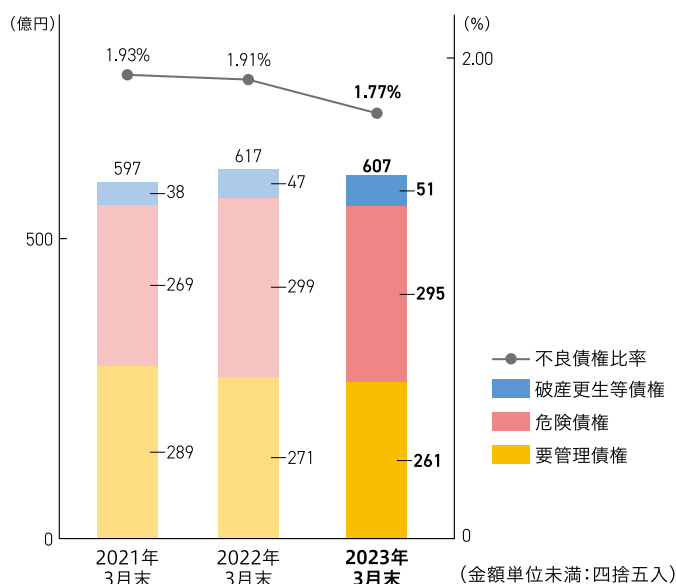
格付

当行は、日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付について「A」を、格付投資情報センター(R&I)から発行体格付について「A-」の格付を取得しており、経営の健全性について高く評価されております。



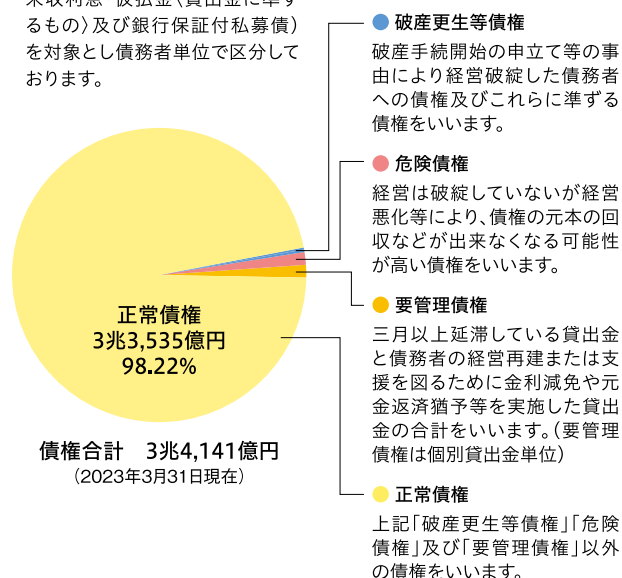
金融再生法開示債権の状況【単体】

当期末の金融再生法開示債権*ベースの不良債権残高は、前期末比10億円減少して607億円となりました。また、債権合計に占める不良債権比率は、前期末比0.14ポイント低下して1.77%となりました。



*金融再生法開示債権とは

金融再生法に基づき、与信額(貸出金・外国為替・支払承諾見返・未収利息・仮払金(貸出金に準ずるもの)及び銀行保証付私募債)を対象とし債務者単位で区分しております。



株式情報

株式のご案内

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までといたします。

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

配当金のお支払

期末配当金 3月31日現在の株主さまに対しお支払いいたします。

中間配当金 中間配当を行う場合は、9月30日現在の株主さまに対しお支払いいたします。

なお、配当金のお受け取りには、お近くの当行本支店の預金口座への振込みをご指定いただきますと便利です。

基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。

その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

各種お問合せ

(郵便物送付先) 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社

大阪証券代行部

(ご照会先) 0120-094-777(通話料無料)

(ホームページアドレス) <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

〈株式に関する各種お手続き〉

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、单元未満株式の買取請求及び買増請求などについては、口座開設されている証券会社等(証券会社等に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社)へお届出ください。

公告掲載方法

電子公告により行います。

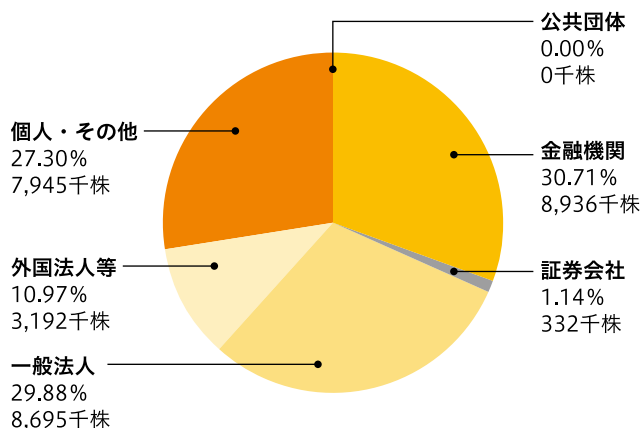
当行ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

株式の状況

発行済株式の総数：29,100千株 (2023年3月31日現在)

株主数：24,569名

所有者別株式数



株主優待制度

株主の皆さまの日頃からのご支援に感謝するとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの皆さまに当行株式を長期保有していただくために、株主優待制度を導入しております。

対象となる株主さま

毎年3月31日を基準日とし、100株(1单元)以上の株式を1年以上継続保有^(※)される株主さまが対象となります。

優待制度の内容

地元香川県の特産品及び社会貢献活動に対する寄付コースを掲載した専用カタログから、保有株式数に応じてお好みの優待品をお選びいただけます。

なお、専用カタログは例年6月に発送しております。

保有株式数	専用カタログ
100株以上500株未満	2,500円相当
500株以上	5,000円相当

(※)1年以上継続保有とは、基準日(3月末日)とその前年3月末日及び9月末日の株主名簿に同一株主番号で100株以上の保有記録が連続して記載、または記録されていることです。



いい出会い ふくらむ未来

百十四銀行

編集発行/2023年6月 百十四銀行 経営企画部広報・SDGs推進室

〒760-8574(専用) 香川県高松市亀井町5番地の1

Tel.(087)831-0114 ホームページアドレス <https://www.114bank.co.jp/>